

2021年 年頭ご挨拶

アサヒグループホールディングス株式会社

代表取締役社長 兼 CEO 小路 明善

新年明けましておめでとうございます。旧年中はアサヒグループに格別のお引き立てを賜り、皆様に心より厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスのワクチンや治療薬は、世界各地で開発が進むものの、普及にはまだ時間を要します。罹患された方とご家族に対して心よりお見舞い申し上げますとともに、今なお最前線で対応されている医療従事者など関係者の皆様に深く敬意を表し感謝申し上げます。一日も早くパンデミックが終息に向かい、本年が日本、そして世界経済にとって明るく躍動感あふれる年となることを願います。

本年は、2050年に温室効果ガスを実質ゼロとする目標に向けた日本の取り組みが本格的に始動するとともに、デジタル庁が創設されます。また70歳までの就業機会の確保を企業の努力義務とする改正高年齢者雇用安定法など一連の改正法も施行されます。私たちの直面する気候変動や持続可能な資源の確保、高齢化など様々な課題は、社会や経済に高い目標と変革を求めますが、だからこそ技術革新が生まれ、多様な機会が創出されます。私たちアサヒグループは、サステナビリティと企業の成長戦略を同時に実現すべく、経営戦略に「環境」「人」「コミュニティ」「健康」「責任ある飲酒」を組み込み、より良い社会の実現を目指します。

不確実性の高い世の中ではありますが、どのような社会に変化しても“お客様は飲食を楽しまれる”ということは変わりません。私たちはグループ理念“Asahi Group Philosophy”において、「期待を超えるおいしさ、楽しい生活文化の創造」をミッションに掲げています。

商品やサービスを通してこのミッションを実現するために、私たちは昨年、豪州の酒類事業取得により、日本・欧州・豪州・東南アジアにおける強固な基盤を確立しました。また、国内においては、酒類・飲料・食品の3つの事業を統括する組織として日本統括本部を立ち上げ、国内3事業で化学反応を起こすべく、新たな取り組みを開始しています。世界各地に多様な社員を有することを強みとし、“Think Globally, Act Locally”を実行し、「期待を超えるおいしさ、楽しい生活文化の創造」の実現を加速させていきます。

本年も、前例は自らつくるという気概を持ち、新しい価値の創造に向け、これまで以上に業務に邁進していく所存でございます。本年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

新年を迎え、皆様のご多幸と益々のご発展をお祈り申し上げます。

以上